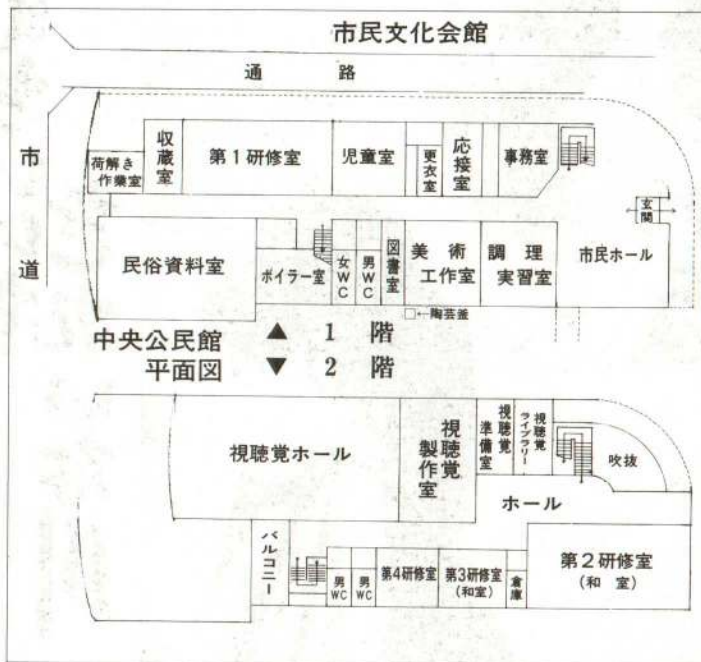




中央公民館完成予想図



四つの研修室、民俗資料室、視聴覚ホールなど 中央公民館改築に着手

勤労身障者文化体育施設との相互活用

市では、老朽化の著しかった中央公民館の改築工事を先月三十一日に発注しました。新公民館には、四つの研修室や美術工作室、調理実習室のほか視聴覚ホール、市民ホールなども新しく設けられ全体的にゆとりとした近代的な建物で、社会教育の拠点としてふさわしいものとなっています。

中央公民館は、旧桂高の校舎を改造して市民の皆さんに利用されてきましたが、利用者の増加と建物の傷みがひどくなってきたため改築を望みます。

延べ面積二千七百五十一平方メートル、旧公民館とはほぼ同じ広さになっており、また建物の外観は文化会館と同じく曲げわっぱの曲線美が活かされています。

一階には、広々とした市民ホールや二百二十八平方メートルの民俗資料室、体の不自由な方も利用できる調理実習室、第一研修室、図書室、児童室、美術工作室それに事務室が配置されています。また二階には、およそ三百人が集まって会議のできる視聴覚ホールや九十畳数の第二研修室、二十七畳数の第三研修室、視聴覚製作室、視聴覚ライブラリーなどが設けられています。さらに隣接の勤労身障者文化体育施設とも渡り廊下で結ばれることになり、各種団体の会議、芸術文化団体の活動や発表の場に、そして身障者の教養文化体育の場として幅広く利用できるものとなっています。

工事は、六月定例市議会での工事請負契約締結議案が承認された後に着手し、十二月末には完成の予定となっています。

中央公民館の工事請負業者へ

- ・建物工事 伊藤組・ダイユーハウス 建設共同企業体 四億二千二百万円
- ・衛生設備工事 衛生設備工事 四億二千二百万円
- ・古家燃料 一千七百九十万円
- ・冷暖房設備工事 冷暖房設備工事 四千八百万円
- ・古家燃料 四千八百万円
- ・電気設備工事 電気設備工事 四千八百万円
- ・秋北電設協業組合 六千三百万円



▲ひらがな盛衰記

松竹大歌舞伎 特別公演

◆とき・7月4日(木)

◆昼の部 1時 ◆夜の部 6時

- ・根元草摺引
- ・お目見得口上
- ・ひらがな盛衰記
- ・勸進帳 (夜の部は素襖落)

尾上梅幸
中村富十郎
中村扇雀ほか

同時解説

イヤホンガイド

イヤホンガイドは、歌舞伎の専門家がお芝居や踊りの説明を舞台の動きに合わせて、小型イヤホンを通して観客の皆さんにお伝えするものです。どうぞご利用ください。

料金 450円

(なお保証金として1,000円頂きますが、公演終了後に器械と引替えに返金します。)

松竹大歌舞伎 入場料 S席4,500円、A席4,000円、B席3,500円